

納税月報

2008.OCTOBER
No.730

10

着任インタビュー

大阪国税局長 若狭正幸氏

いま確認しておきたい取引相場のない株式の評価方法(下)

ポイント解説 中小企業が使いやすくなった情報基盤強化税制

会長訪問

畑地 浩 (田辺納税協会会長)

インタビュー「めざせ! オンリーワン」

プロも納得の「味」を創る

外食産業用調味料のバイオニア

山田 亮 (株式会社創味食品 代表取締役社長)



e-Tax利用推進運動実施中!

申告・届出・納税もパソコンで



染色のサンプルは5万色以上。何度もテストを行い、サンプルとして保存



刺繍もオーダーメイドで小ロットに対応



製品には、作業者のシリアルナンバーを明記。商品の徹底管理を行っている

足にフィットするよう、立体的に編まれた靴下。土踏まずを押し上げる構造が、足の疲れを軽減する



左右もきちんと表示



代表取締役社長
吉村盛善さん

「コーマ株式会社」

八尾納税協会常任理事
創業 1922年(大正11年)
本社 大阪府松原市阿保3-6-27
URL <http://cooma.co.jp/>

中国製品などの台頭で、靴下は「3足1,000円」が当たり前の時代に入っています。染色から縫製の一貫工程にこだわって靴下を作り続けてきたコーマは、安価な製品に対抗するため、機能性の高い靴下の開発に生き残りを賭け、業績を伸ばしています。自ら開発チームの一員として、日々切磋琢磨されている代表取締役社長の吉村盛善さんにお話を伺いました。

染色から縫製まで、こだわりの一貫工程 人を幸せにする商品を届けたい

創業からずっと、染色から縫製の一貫工程にこだわり、全盛期は1か月で110万足出荷していました。ところが、安価な中国製品などの台頭によって、国内生産量は大きく落ち込み、消費者の方々の靴下への価値観も、質より安さへと変化していきました。価格競争には到底かないませんから、今までにない縫製技術を使い、付加価値のある靴下を開発することにしました。

従来の靴下は、右左関係なくどちらを履いても問題がないようにできています。しかし、人の足は右左、同じ形をしているでしょうか？土踏まずの凹みやかかとの膨らみ、親指から小指にかけてのカーブやくるぶしの出っ張りなど、左右対称で位置が違います。左右同じ形の靴下は、脚にきっちりフィットするようにはできていないということです。私た

ちはそこに着目し、足にピッタリとフィットし、なおかつ、健康にも良く、機能的な靴下を開発しました。特にスポーツ、キッズ、介護用靴下の開発に力を入れています。2006年、敷地内の社宅の跡地に建設した介護付き有料老人ホーム「パームコートまつばら」は、施設運営が、お年寄りの足をサポートする機能性の高い靴下の開発に繋がると始めた事業でもありません。

靴下の力でお年寄りの転倒事故を防げたら、赤ちゃんの足の発育を促せたら、アスリートの好成績に繋がれば、そんな思いで日々付加価値のある新商品の開発に取り組んでいます。当社の靴下を履いていただくことで幸せが訪れる、そんな靴下を作り続けていきたいと思っています。